

つながり

2017
05



検診を受けましょう！

1-2p 乳腺外科・婦人科・消化器内科・呼吸器外科のご紹介

部門紹介／医療まめちしき	3p
設備のご紹介／TOPICS／教えてパタ崎さん！	4p
リハビリ通信／我が病院のボランティアさん	5p
総合医療支援センターからのお知らせ	6p
地域の医療機関のご紹介	7p

ご自由に
お取り
ください

乳腺外科・婦人科・消化器内科

呼吸器外科のご紹介

消化器内科

尾花 伸哉 医師

本院診療部内視鏡センター診療部長 兼第一消化器内科科長

婦人科

我妻 理重 医師

本院診療部周産期センター診療部長 兼第一産科科長兼第一婦人科科長

呼吸器外科

島田 和佳 医師

本院診療部呼吸器センター診療部長 兼呼吸器外科科長

近年、がんは日本の死因トップに。
検診を受けて早期発見・早期治療を

受け入れ患者の 精密検査と診断決定 その後の治療「

「受け入れ患者の精密検査と診断決定、その後の治療」

大崎市民病院では、他の病院や予防協会の検診を行った診断し、内視鏡治療適用患者は引き続き治療、その他の治療が必要な場合は、他の科へ引き継ぎます。」と、尾花医師は続けます。

「大崎市民病院の
がん治療の今」

がん治療の今

の疑いがある場合、紹介患者を受け入れ、精密検査を実施し、診断・治療を行っています。

「婦人科では、特に婦人科特有の疾患（卵巣がん、子宮悪性腫瘍など）が疑われる場合、画像診断、細胞診、組織診を行い、手術や抗がん剤治療、放射線治療などを組み合わせて対応していくます。」と、我妻医師は話します。

が疑われる場合、画像診断、細胞診、組織診を行い、手術や抗がん剤治療、放射線治療などを組み合わせて対応していくます。」と、我妻医師は話します。

「消化器内科は、救急搬送で救急科が初期対応をした後に対応することも多いです。内視鏡検査

「大崎市民病院の
がん治療の今」

吉田医師は「乳腺外科には、専門医2名と、病理医も常駐しています。検査機器は、マンモグラフィー2台と、診断がつけにくい症状も検知する精密検査マンモトームも導入しています。さらに2013年に形成外科と共に乳房再建の施設認定を受けています。また、抗がん剤の副作用対策として他の診療科との連携対応、サポート体制の『がんサロン』も設けられました。内視鏡治療適用患者は引き続き治療、その他の治療が必要な場合は、他の科へ引き継ぎます。」と、尾花医師は続けます。

自覚症状がなくても、がんは発生している



ています。」と説明します。

続けて「肺がんに関する治療は、大崎市民病院内で完治できる体制をとっています。胸腔鏡下手術を積極的に取り入れ、呼吸器内科、放射線治療科と連携しながら治療を進めています。」と呼吸器外科の島田医師は話します。

その先を予見することができます。検診をうまく活用し、早期発見に努めてほしいです。」と語ります。

乳腺外科の吉田医師は

「今は、がん細胞が成長してからの発見ではなく、しこりの前の段階で見つけることもできます。2年に1度のマンモグラフィーだけでは必ずしも十分ではなく、自己負担ですが、超音波検査も行つてほしいです。」と助言します。

婦人科の我妻医師は「子宮頸がんは20代、30代でも多い病気です。死亡率を下げることはもちろんのこと

**「がんは、誰にでも
起こり得る。検診を
受けて早期発見を。」**

と、若い方は、早期発見

ができます。子宮を温存し子どもを授かることもあります。20歳になつたら子宮がん検診を受けましょう。」と呼びかけます。

呼吸器外科の島田医師

は「肺がん患者の統計を見てみると、健診で見つかった3分の2の方は手術をすることが出来ています。検査はレントゲン写真のため、毎年受けていいないと病気が見つかりにくいです。できるだけ毎年受診するようにお願いします。」と話します。

日本でのがん患者が増えた一方、検診受診率は依然低いままであります。自分の命を守るために、がんの知識と検診方法や種類を知り、最適な検診を継続的に受診しましょう。

当院の受診について

当院の受診には、お近くの保険医療機関からの紹介状と事前の診察予約が必要です。

小児科の受診には、予約は不要ですが、できる限り紹介状をお持ちください。

各種検診の結果、精密検査が必要と判定された方のうち、当院を受診希望される方は、予約センター（0120-003-934）までお問い合わせください。

※「再検査・要医療」の判定の場合は、結果表を紹介状として取り扱います。



乳 婦 人 科

消化器内科

呼吸器外科



受付 時間

吉田 龍一（診療部長）

我妻 理重（診療部長）

岩間 憲之（副科長）

笠原 祥子（医員）

熊谷 奈津美（医員）

尾花 伸哉（診療部長）

大矢内 幹（副診療部長）

伊藤 博敬（科長）

島田 和佳（診療部長）

江幡 明子（科長）

松本 大樹（科員）

宮野 菊子（医員）

白井 友梨（医員）

五十嵐 勇彦（副診療部長）

佐藤 雄一郎（副診療部長）

猪股 優志（医員（消化器内科専攻））

川村 昌輝（副科長）

乳 婦 人 科・消化器内科・呼吸器外科

初診 8:00～11:30 再診 7:30～11:30

婦人科 初診 8:00～11:00 再診 7:30～11:00

患者さんの病気が快方に向かうように、院内ではたくさんの職員が働いています。その様子を紹介します。

「健康管理センター」 TEL: 011-911-3471



皆さん、年1回の健診は受けていますか？

当センターでは、あなた自身、そしてあなたの家族の貴重な財産である健康を守ること、さらに健康づくりのお手伝いをすることを使命としています。

検査や診断には本院の専門医が携わり、正確で分かりやすい検査判定はもちろんのこと、待ち時間の短縮・検査結果通知までの期間短縮などに25名のスタッフが日々努めています。

当センターの健診メニューは、半日ドックの標準検査にオプション検査を追加した場合でも、午前中ですべての検査が終了します。さらに、総合健診と同日に、女性検診（子宮がん検診、乳がん検診）、胃透視、脳ドックなどが受けられるメニューもあり、豊富なメニューを取りそろえています。

健診に関する疑問や不安な点などがありましたら、お気軽に問い合わせください。

医療まめちしき

患者さんによく質問される疑問にお答えします。

Q 健診を受けるメリットは？

A 身体の中で起こっているさまざまな変化を早期に発見し、早期治療につなげられます。また、現在の状態をチェックすることで、生活をより一層健康的なものに改善する手がかりが得られます。

Q 運動や食事がデータに与える影響は？

A 食後には血糖値や中性脂肪が上昇します。また、激しい運動直後にはクレアチニン、血糖、尿酸、LDHが一時的に上昇します。健診当日の運動や飲食は避けて、正確な検査データを得られるようにしましょう。

設備のご紹介

乳房撮影装置

当センターでは乳がん検診を行っており、これまでの乳腺のエックス線撮影よりも高画質、低被ばくで撮影ができるマンモグラフィ装置が平成29年4月から導入されています。

また、認定資格を持った女性技師が撮影を担当することで、高い撮影技術の提供と受診者のストレス軽減にも努めています。

乳がん検診はマンモグラフィ検査のほか乳腺超音波（エコー）検査も行っており、エコー検査とマンモグラフィ検査の併用受診も可能となっています。

女性の乳腺はさまざまです。当センターは受診者に合った“適切な乳がん検診”の受診を可能にし、乳がんの早期発見のお役に立てればと考えています。



TOPICS ~特定保健指導のご案内~

当センターでは、特定保健指導の該当となった方に保健指導を実施しております。

保健指導とは、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病を予防するために食事や運動などの生活改善のアドバイスを行うことです。当センターでは年間約100件実施しております。

保健指導時は減量目標を設定し、食品模型や資料などを利用しながら、目標達成のための具体的な行動計画を作成します。特定保健指導の該当となった方は、ぜひ当センターまでお問い合わせください。



Q&A

病院内のあれこれ 教えてパタ崎さん!

Q 健診はどうやって申し込むの？

A 当センターは、完全予約制のため事前の申し込みが必要となります。電話で予約をお取りください。（インターネットでの受け付けはしておりません。）

健康保険の種類や勤務先、個人で受診される場合によって、健診料金や健診内容が異なります。お電話の際にお尋ねください。

Q 健康管理センターでの「二次検診」って何？

A 当センターで健康診断を受けられた方のうち、血圧、脂質、糖代謝、腎機能、肝機能、脾機能が「要精密検査」となった方（糖代謝に関しては血糖値110以上の方）が対象者となります。

対象者には結果通知と一緒にご案内を郵送しておりますので、希望される場合は詳しい検査をします。電話で予約をお取りください。

また、その結果で治療が必要となった場合は、かかりつけ医や地域の医療機関、または専門医療機関に紹介します。



血管の若さを保つ運動療法 ～運動不足は万病のもと～



今回は運動不足によって引き起こされるものについて、お話をします。

運動不足が続くと…

①骨や筋力などからだの機能が弱くなる



②うつ病や認知症のリスクを高める

運動不足は自律神経系の働きを抑えてしまい、ホルモンのバランスを乱し、気持ちが不安定になります。また、認知症の原因ともなります。



③血管の老化を早める



動脈硬化を進行させる要因

- 死の五重奏
- 肥満・高血圧
- 糖尿病・喫煙
- 脂質異常
- 運動不足
- 加齢
- 遺伝
- ストレス



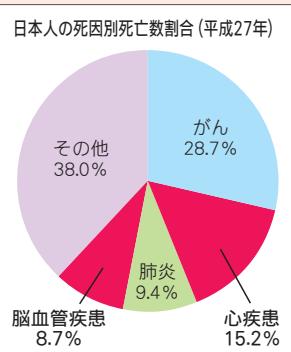
・弾力があり
しなやか

動脈硬化



動脈硬化が
進むと…

日本人の死因の主な原因になっている大きな病気の背景には“血管の老化”があります。



第2位の心疾患と第4位の脳血管疾患はいずれも、血管が詰まつたり破れたりすることで起こる血管病です。



次回は、運動の効果と方法について掲載します。お楽しみに!!



私は、介護職員研修を修了後、患者さんのお手伝いができればと思い、ボランティア活動を始めました。始めてから日が浅いので勉強中ですが、お役に立てるように頑張ります。

氏家貞志さん（ボランティア歴1年）

昨年、東京の従妹ががんの診断をされたことがボランティア活動をしようと思ったきっかけです。少しでもお役に立てればと思っています。

紺野満理子さん（ボランティア歴10ヶ月）

こんなときは、
私たちボランティアに
声をかけてくださいね

受付の仕方が分からぬ時
院内の場所が分からぬ時
車いすでの移動の
お手伝いが欲しい時
など



我が病院の
ボランティアさん



◎病院ボランティアさん大募集◎

活動内容一例：病院内の案内・新患受付の手伝い、車いす移送補助、小児科病棟患者支援、ロビーコンサートなどの手伝いほか

→お気軽にお問い合わせください ☎ 総務課総務係TEL：0229-23-3311

みなさんは健診を受けて「要(再)検査・要医療」と判定を受けた場合、二次検診を受けていますか？

かかりつけ医を受診しましょう

「要(再)検査・要医療」の判定を受けた場合は、放置せずに必ず受診しましょう。お薬の調整が必要な場合もありますので、かかりつけ医を受診し、精密検査や今後の治療について相談するようにしましょう。

また、「経過観察」の判定を受けた場合で、心配事がある場合なども同様に、かかりつけ医を受診しましょう。

「自覚症状がないから大丈夫」と思っていても、ほとんどの病気は自覚症状がないままに進みます。早めに対処することで生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症など）を予防、または早期治療につなげられます。

「かかりつけ医」がないという方は、このような機会に合わせて、お近くの診療所・クリニックに相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう。



市民病院で精密検査を受けたい場合

「要(再)検査・要医療」の判定を受けた場合、**電話での予約**の手続きをした上でご受診ください。（健診結果表に健診医の氏名が記載されているものに限ります。学校長の氏名の場合は対象となりません。）

ただし、子宮がん検診、前立腺がん検診、骨粗しょう症検診、睡眠時無呼吸検査において、二次検診が必要な場合は、一度他院をご受診ください。

予約受付について

お手元に健診結果表をご準備の上お電話願います。

（当院受診歴がある方は、診察券もご準備ください）

◆時 間 月～金曜日の8時30分～17時

◆受付部署 予約センター（地域医療連携室）

電話0120-003-934（通話無料）

※健診結果が「経過観察」の場合は、「紹介状」の扱いとはなりません。

ご心配事があれば一度かかりつけ医にご相談ください。

地域の医療機関のご紹介

当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。こちらでは、日々当院と交流のある登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

医療法人 青翔会 佐藤まさひでクリニック

診療科目：

胃腸科、肛門科、外科、整形外科、
美容皮膚科、アレルギー科

〒989-6106

大崎市古川幸町一丁目7-20

TEL: 0229-23-8152

URL: <http://dr-sato.or.jp/>

受付時間：

午前9時～正午

午後1時45分～午後6時

※土曜日は午前9時～午後1時

月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	-	○	○
午後	○	○	○	-	○	-

●院長
佐藤
雅英
先生



地域の
みなさんへ

私たちは現代社会の生活の中で、環境・ストレス・プレッシャーなどから、体調に現れてくるさまざまな障害や症状を抱えています。

当院では、胃腸科・肛門科・整形外科・各種検査施術の診断、治療はもちろん、さまざまな病気の症状から患者さんの心身に何が必要であるか最善の方法を共に考え、シンプルで分かりやすく医療をお伝えし、実践に努めてまいります。



●院長
千葉
徹先生

地域の
みなさんへ

当院は、大崎市古川に開業してから約50年になります。地域医療に根差し、内科的な慢性疾患やかぜ、腹痛などの子供を主に診療しています。また、糖尿病の患者さんも多数来院いただいております。

糖尿病は血糖が高いまま放置しておくと合併症を来たし、失明や人工透析の原因となります。さらに、神経障害や心臓疾患も生じやすくなるため自覚症状がなくても、定期的な通院と治療が必要です。スタッフ全員で優しく丁寧な糖尿病指導を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

なお、当院では大崎市民病院など専門医のいる病院を早めに紹介するように努めています。当院は明るく開放的な病院です。スタッフ全員、来院をお待ちしております。

医療法人社団 千葉医院

診療科目：

内科、小児科

〒989-6162

大崎市古川駅前大通六丁目2-44

TEL: 0229-22-3228

受付時間：

午前9時～午前11時30分

午後1時30分～午後5時

※火曜日午後は午後1時30分～午後5時30分

※木曜日午後は午後2時～午後5時

月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	-
午後	○	○	-	○	○	-

つながり

大崎市民病院広報誌「つながり」No.9
2017年5月発行
－次回発行は2017年8月の予定です－

大崎市民病院

〒989-6183 宮城県大崎市古川穂波三丁目 8 番 1 号
TEL 0229-23-3311 FAX 0229-23-5380 URL <http://h-osaki.jp>

大崎市民病院

検索